

# 一般質問

## ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。町では、一般質問の録画映像をYouTubeにて公開しています。

スマートフォン等をご利用の方は、各議員のQRコードを読み取りご覧ください。パソコン等から視聴される方は「**松田町議会 YouTube**」と検索していただくと、ご覧いただけます。

### 最大震度6強が想定されている 松田町における地震災害対策について



質問者  
中津川 定雄 議員



能登半島地震は未曾有の災害となったが、松田町は南海トラフ地震に關し地震防災対策推進地域に指定されている。そこで町の地震災害対策について問う。

**答** 住宅の耐震化率は令和2年度実績で72%である。町では木造住宅の耐震診断費や耐震改修工事費等の補助制度を設けており、引き続き制度の活用促進を図り、耐震化を推進していく。

**質** 被災地では、水道施設の深刻な被害が続き断



### 寄地区の孤立対策を地域防災計画に反映させます



回答 (町長)

**答** 上水道事業においては既に耐震管を2.2km布設している。今後は耐用年数を迎える主要管路から優先的に耐震化を実施する。寄簡易水道においては、必要に応じ部分的に耐震化を図っているが、厳しい経営状況のな

水が長期化しているが、町における水道施設の耐震化の進捗について。



か、計画的に管路の安全性を高めていく。

**質** 寄地区は幹線道路の崩落により孤立する可能性が高いと思われるが町の地域防災計画には孤立に関する記述がない。孤立した場合の応急対策はどのように考えているか。

**答** 孤立対策は、原則、国や県などの支援が前提となるが、通信手段の確保やヘリコプターによる人命救助、通行不能となった道路の復旧、飲料水や食糧などの備蓄物品の確保など、国や県の支援がない状況でも3日以上耐えられるよう体制を整えていく。なお、孤立対策についてはこれらを地域防災計画に反映させる。

### 防災対策の強化を



質問者  
寺嶋 正 議員



**質** 能登半島地震を踏まえ、県西部地震や南海トラフ巨大地震を見込んだ建物や人的被災の被害想定を伺う。

**答** 県西部地震において震度6弱の揺れが想定され、町の建物被害想定は全壊軒数が10棟、半壊軒数が210棟。人的被害想定は中等症者10人、軽症者20人である。

**質** 災害時の主な避難所開設と飲料水、食料、毛布、簡易ベット、簡易トイレなど備蓄品の確保策を伺う。

**答** 主な避難所は、生涯学習センター、松田・寄小学校など。主な物品の備蓄数は食料1万3760食、ペットボトル飲料水500ミリ11万536本、毛布1500枚、簡易トイレ1万個。



### 近年起きている災害から学び、物品の備蓄など整える



回答 (町長)

**質** 激甚災害における仮設住宅やみなし住宅等の設置の考え方を伺う。

**答** 災害救助法が適用された場合は規定に基づき被災者に対する応急仮設住宅の建設及び住宅の応急修理は知事が行い、建設用地の確保は町が行う。町有地7か所を指定し、216戸が建設可能としている。

